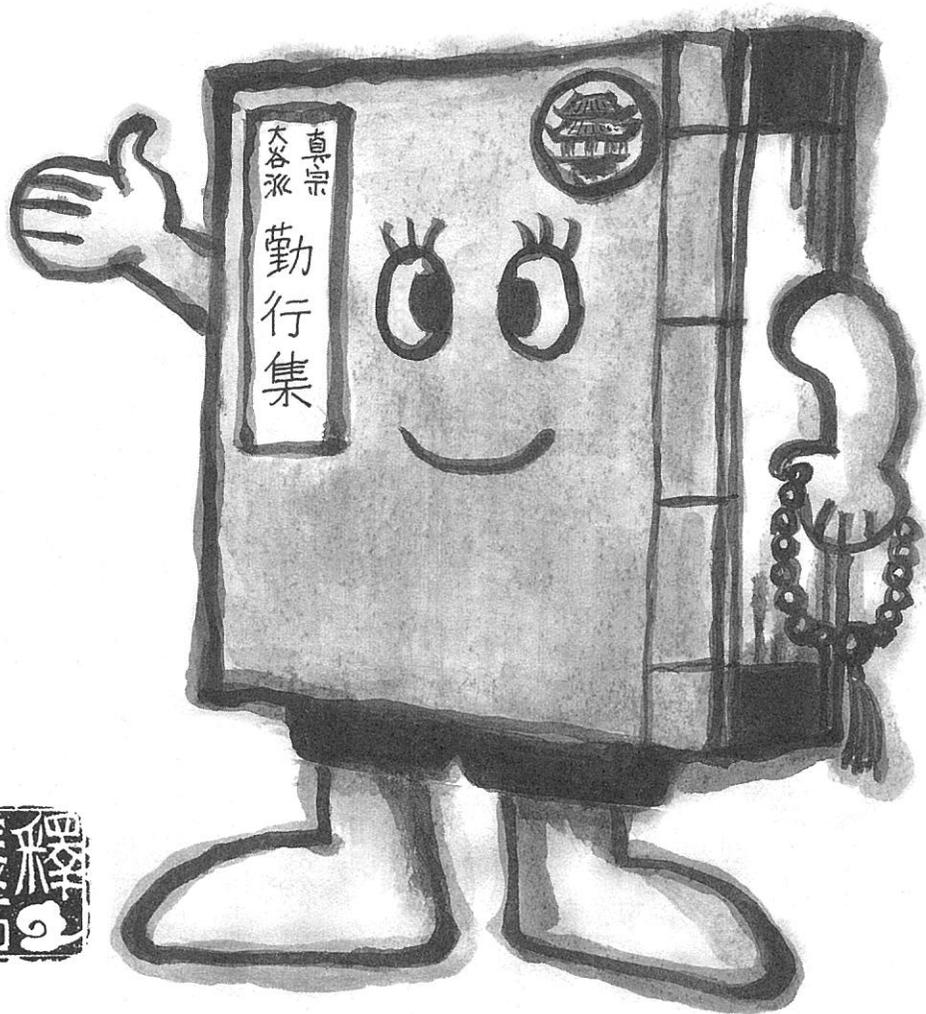


69号

真宗大谷派
高德寺通信
2015年新年号



お内仏のこころ

ないぶつ

真宗門徒は「仏壇」のことを「お内仏」と呼び習わしてきました。仏壇が外側の箱の部分やさす言葉であるのに対し、お内仏はご本尊・阿彌陀如来に重きをおいた言葉です。約500年前、蓮如上人の時代のお内仏は、床の間に「南無阿彌陀仏」の軸を掛け、台を置き、燭台と花瓶と香炉をお飾りする質素なものでした。当時の人は、お勤めや法座があるたびに床の間にそういつた荘厳（お飾り）をしたわけです。蓮如上人の言葉に「本尊は掛けやぶれ、聖教は読みやぶれ」とあります。大事なもののだからと言ってしまっておくな、お勤めをせよ、仏法を聞け、と言われているのです。そこから時が流れて、現在の固定式の箱型となったのは江戸中期頃だそうですね。現代の日本では、ほとんどのお宅に仏壇があって、それを「お内仏」と呼んでいる

我々真宗門徒にとって、そのお内仏とはいったい何なのでしょうか...

「つちは先祖がなにからお内仏は必要ない」なんて言われる方がいますが、本当に必要なものでしょうか？

お釋迦さまの説法を書き写したものの、お釋迦さまの本当に伝えたかった精神を書き写したものが「お経」です。

※ 八万四千あると言われています。その中で浄土真宗は「浄土三部経」

「佛說無量壽經」「大經」「佛說觀無量壽經」

「觀經」「佛說阿彌陀經」「小經」という3つのお経を拠り所としています。これらのお経は、阿彌陀の浄土の有り様はた

らきを言葉で表現しています。そして「お内仏」は、阿彌陀如来の浄土を形で表現したもののなのです。お内仏は

ご先祖様の靈を安置する壇ではありませんし、位牌を安置する「お位牌ボックス」でもありません。もちろん

私たちに先立ってお浄土に還っていかれた方々の法名をお掛け軸にした「法名軸」はお内仏の側面にお飾りし

ます。しかし、お内仏の中心はご本尊・阿彌陀如来なのです。そして、真宗門徒の家の「主」は、おじいちゃんでもお父さんで

もありません。主は、阿彌陀さんなんです。だから家に住んでいる人はすべて同じ方向（阿彌陀如来の方）に向かっ

手を合わせるのです。お内仏は浄土という世界を形として表現

現していて、その仏具ひとつひとつが浄土・如来のはたらきを表現

している人はすべて同じ方向（阿彌陀如来の方）に向かっ

手を合わせるのです。お内仏は浄土という世界を形として表現

現していて、その仏具ひとつひとつが浄土・如来のはたらきを表現

している人はすべて同じ方向（阿彌陀如来の方）に向かっ

しているのです。例えは花瓶に生けられた花。これは仏様に捧げるために生けるではありません。もしそうならば、仏様の方に向けて生けるべきですよ。花をこちらに向けて生けるのは、花を通して何かを学びたいという仏様の教えなのです。真宗では仏花は生花と決まっています。(トゲのあるものは用いません)生花はどんなに美しく咲いても必ず枯れます。死すべきいのちを生きていながら、そのことに対して無頓着な我々に、花は諸行無常の道理を教えているのです。そして華瓶という器には「水」をお飾りします。水は形の違う入れ物に入れればその入れ物の形に変わります。でも水という本質は変わりませんね。仏様のはたらきも、どんな状況を生きる人にも変わらずに柔軟にはたらきかけてくださいます。お香もそうです。そこに居るすべての人に差別なく行きわたります。阿彌陀如来のはたらきは老少善悪の人をえらばず、きりわきみずけません。そしてその阿彌陀如来はお立ち姿です。縁次第ではどんなことでもしてしまふ、脆くて弱い我々人間として生きとし生けるすべてのものをもろさず救い授けようと立ち上がった姿です。お浄土を形で表現した「お内仏」に手を合わせる生活を一生涯続けていきたいものです。南無阿彌陀仏。

法事のことについて

- 新年号の「おかげさん」に年回表ねんわいひょうが入っており、まず、お身内への命日をお確めになつて、一周忌や三回忌、七回忌などの年回に当たっておりましたら、オニ希望日、オニ希望日をご検当の上、高德寺へご連絡ください。日程を調整いたしますよう。
- 法事は葬儀ではないので、平服でお参りください。
- 法事ははじまる30分前に寺へ集合してください。
- お施主様は、さうに早目にお出でいただき、墓石等を綺麗にしておきましょう。
- 法名軸(又は位牌)を忘れず、写真はお持ちになられましたらお飾りします。
- ご不明な点はどんなことでもお問い合わせてください。宜しくお願いたします。

高德寺 報恩講 巖修

2014. 10. 18 sat

記念式典の前に全員で本堂の外に集ってパチリ。



今年も爽やかな秋晴れのもと、高德寺報恩講が巖修されました。約一年をかけたご修復が完了しての記念法要ということもあって、沢山のご門徒のご参詣をいただきました。

その後本堂内で住職の挨拶に続いて山野正義ご修復委員長の挨拶があり、ご修復に携わった業者の代表の方々に高德寺より感謝状が送られました。

記念法話のご講師は昨年と同じく、加賀の光園坊よりご出講くださいました、佐野明弘先生。『お寺・伝えられた祈りの場』という講題で心に響くお話をしてくださいました。(また「別冊」にまお伝えたいと考えます。)

法要では長男の釋了吾(18)がご和讃の発声をいたしました。以上、簡単ではありますが、報恩講のご報告とさせていただきます。



◆山野責任役員のご挨拶。

◆満堂の中、佐野先生のお話に皆さし釘づけ!!!



◆佐野先生の笑った顔 結構シヤかも...



◆住職より感謝状の授与。沢山の方々の「おかげさん」です!!

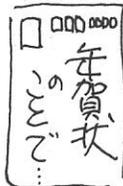
修正会しゅうしやうかいを

2015年
1/1

ご一緒にお勤めしましょう。

修正会とは一年で一番最初のお参りです。蓮如上人は「あらたまの年のはじめは祝うとも、南無阿弥陀佛のころりゆるるな」と、自分の口から祈いのちえるお念仏があつてこそ、新年が本当の新年になると教えてくださっています。阿弥陀さまをはじめ、お浄土じやうどに還かえっていかれた自分にとって大切な方々は、いったい何を願ねがわれているのだろうか？？又、我々すべての人間の奥底にある誰にとっても共通の、本当の願いねがひ（本願）とはいったい何なのか？？と、このことを問とひながらご一緒にお念仏して参りましょう。一月一日の十時より高德寺本堂にてお勤めいたします。平服にてご参詣ください。

→ 高德寺 修正会 2015年1月1日 10時~本堂にて



自分にとって大切な方が亡くなったら、新年のご挨拶状を交換しないといふのは、何かおかしくないですか？「自分にとって大切な、関係の深い人が、尊い人生を全うしてお浄土に還っていかれました」というお知らせと自分のおもうところをお伝えして、変わらぬお付き合いをお願ねがいすることは、とても大切なことだと思おもいます。おめでどうは無しに

普通ハガキでお出ししてみてもいいかひでしょうか？。大晦日おほひにポストに入れれば、一日か二日には相手先に届くと思おもいます。

お正月のお控しやうげつのおひかえ厳げん



お内仏おうちぶつ（仏壇）には「鏡もち」をお供ともえし、打敷うちぢ（三角形の布を上卓じやうたくと前卓まえたくに掛けます。）小型のお内仏には上卓が無ない場合もあります。真宗の考かんがえかでは迷信を信じませんので、裏うらに服くすることをおしやしません。ですからお身内の方がお亡なくなりになつたお宅でも、お飾かざりりをきちんとして、ご家族や有縁の方と一緒に本尊にお参りいたします。鏡かがみもち」は4日目に下げます。

真泉入門講座のご案内

浄土の門は娑婆^{しゃば}に立っています。仏法を聴聞^{ちやうもん}し、自分をみつめ、門の中に入ってみようではありませんか。“門徒^{もんと}”とは親鸞一門の生徒のことです。仏法の温泉に浸ると法友^{ほうゆう}が出来ます。後期は京都・東本願寺に泊って“おかみそり”（帰敬式^{きけいしき}）を受けて法名^{ほうな}がいただけます。法名とはお釋迦さまのお弟子となりて仏法を聴聞していく人の名まえです。2泊3日、師と友と寝食を共にしながら自分はいたいどこへ向かい、どこへ帰るのか…親鸞聖人の教之に聞いて参りたいと思います。是非ご参加ください。

- ・期 日 2015年 2月2日(月)～4日(水)
- ・場 所 東本願寺 真泉会館
(練馬区谷原1-3-7 TEL: 03-5393-0810)
- ・講 師 近田 昭夫氏^{ちかた あきお} (顯真寺前任職^{けんしんじ ぜんじん})
- ・参加費 15,000円 (宿泊・食事・研修他)

※参加申し込みやお問い合わせは住職まで。
3日間、私(高德寺住職)もSTAFFとして参加いたします♪

お磨き奉仕・御礼

※9月7日(日)に本堂でお磨きいたしました。

伊藤 隆介さん
奥野 登子さん
菅原 徳子さん
崇島 曉美さん
近松 とよ子さん
塚田 和子さん
寛谷 恵美子さん
古谷 紀代美さん
水越 拓路さん
水越 和子さん
峯 節子さん
峯 令子さん
(あいうえお順です)

あまこと難しのおかりさんです。
仏具がいつもピカピカになります。

カンパ御礼

お心遣いに感謝いたします...m(...)m

小野寺 経年さん	神野くららさん
小野寺 剛年さん	大槻 勝英さん
鈴木 正義さん	鈴木 新一さん
飯島 正さん	稻葉 千代子さん
	高橋 毅さん

(いただいた順です)

◆ 佐々木 治子さんよりタオルを頂戴いたしました。合掌。

2015ねん

高德寺年中行事

10月

- ◆ 報恩講 (10月24日(土))
ご修復完了の記念法要を予定しております。ご法話の講師は今年も佐野明弘先生がご出講くださいます。お誘い合わせの上お参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑩ (10月3日(土))

9月

- ◆ おみがきの会 (9月6日(日))
- ◆ 秋彼岸会 (9月20日~26日)
23日(火)の11:30より本堂で法要が勤まります。お参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑨ (9月12日(土))

8月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑧ (8月22日(土))
- ◆ ミュウソンス・ライブパーティー (8月26日(水)) 夕~新井邸記念ホール

7月

- ◆ おみがきの会 (7月5日(日))
- ◆ 盂蘭盆会 (7月13日~16日)
合同新盆法要は7月12日(日)を予定しております。(お施主様にはご案内をさしあげます)
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑦ (7月25日(土))

11月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑪ (11月14日(土))

12月

- ◆ おみがきの会 (12月27日(日))
望年会を開きます。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑫ (12月19日(土))
望年会を開きます。

1月

- ◆ 修正会 (1月1日)
10時より本堂にて平服でお参りください
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間① (1月17日(土))

2月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間② (2月28日(土))

3月

- ◆ おみがきの会 (3月8日(日))
- ◆ 春彼岸会 (3月18日~24日)
21日(金)の11:30より本堂で法要が勤まります。お参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間③ (3月28日(土))

4月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間④ (4月25日(土))

5月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑤ (5月9日(土))
- ◆ 旅行会 (5月・期日は未定)
『山形方面』を予定しております。詳細は70号(春号)でお知らせします♪

6月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑥ (6月27日(土))



◆先月「FURY」という映画を観た。オニ次世界大

戦末期の米戦車部隊の物語。FURYとは

「憤怒」という意味である。戦車フューリーに乗る

ち人の兵士の絆を通して、戦争の愚かさ、残酷

さ、容赦の無さをリアルに描いている。理想は平和

だが歴史は残酷だ。「ここ(戦車)がオレの家だ」と

いう兵士たちの台詞が今でも頭に残っている…。

◆「さるべき業縁(ごうごん)のもよおせば、いかなるふるまいもす

べし」(歎異抄十三章)これは親鸞聖人が、縁があれば

どんなことでもしてしまう我々人間を、言いつた言葉だ。

善いとか悪いとか言っても縁次第でそんな心はフツ

飛んでしまう…。その人間の存在が悲しい…全ての衆生

を救いねば、と言って立ち上がられたのが阿弥陀如来である。

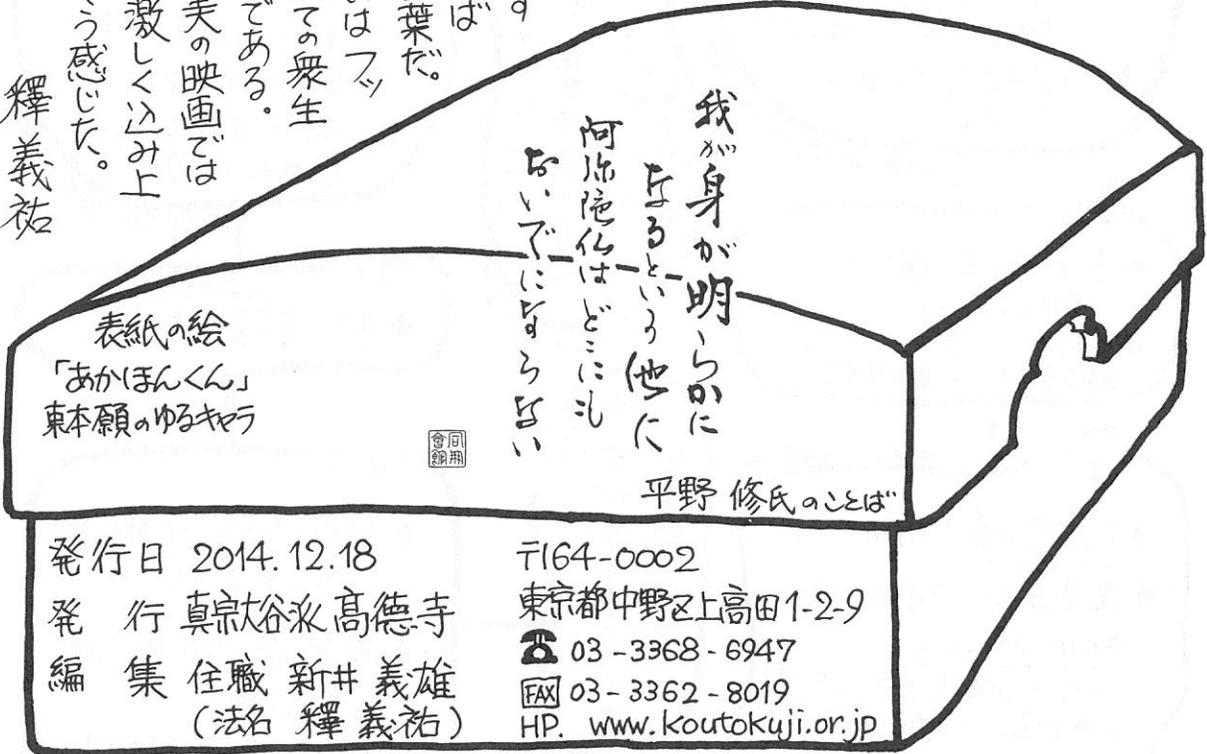
◆「FURY」はドキュメンタリーや反戦、また戦争賛美の映画では

ないが、絶対に戦争はしてはならないという感情が激しく込み上

げてくる映画である。エンドロールまで観て本当にそう感じた。

是非、映画館で観ていただきたい。

釋義祐



我が身が明らかに

よるという他に

阿彌陀仏はどにも

ないでにまらざい

平野 修氏のことば

表紙の絵

「あかぼんくん」
東本願のゆるキャラ



発行日 2014.12.18
発行 真宗大谷派 高德寺
編集 住職 新井 義雄
(法名 釋義祐)

〒164-0002
東京都中野区上高田1-2-9
☎ 03-3368-6947
FAX 03-3362-8019
HP. www.koutokuji.or.jp